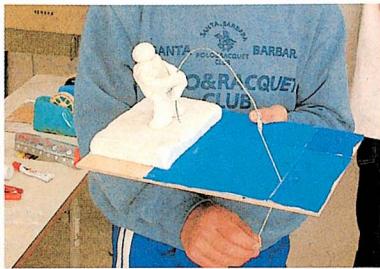


評価支援

○ 個に寄り添った共感的な支援の工夫

< S君への支援：「大物が釣れたぞ!!」>



体を反らせたり釣り竿をしならせたりすれば  
大物が釣れた感じがするぞ

教師：体がそって竿もしなって  
本当に大物を釣ったみたいだね

大物が釣れた感じをもっと出したいな

水面に穴をあけて糸を下まで通そう

教師：糸を引くと竿が揺れて本物みたいだ  
すばらしいアイディアだね

友だち：魚がいたほうがいいんじゃない

糸の先に大きい魚をつけよう



○ 交流の場の設定

○ 相互評価の方法

表現の途中に鑑賞活動を取り入れた。友だちの表現のよさをみつけ、それをメモ用紙に書いて机に貼り付けていった。友だちの表現のよさをどんどん見つけて

知らせていくと同時に、メモを見て今まで気づかなかった自分の表現のよさに気づく姿も見られた。よさを見つけるという場であったのだが、表現過程での鑑賞ということもあってか、まだ表現途中の部分に対しての指摘も見られたので、今後の表現へのアドバイスととらえていくよう話した。また、友だちからのメモがあまりない子に対しては、教師がみつけたよさを示した。途中鑑賞の後の表現活動は、それ以前の活動に比べて全体的に活発さが増した。

